

2025年度

科目名称	植物のかたちと分類
授業コード	BA101
英語名称	Plant morphology and taxonomy
学期	2025年度前期
単位	2.0
担当教員	高野 智之
※記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本講義では、藻類・植物の形態とその機能及び進化と分類について幅広い視点で基礎的知識を学ぶことを目的とする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	対象外
到達目標	カリキュラムポリシーにおいて、2. 専門科目を学ぶための基礎となり、かつ動機づけとなる専門基礎科目とされる講義であり、2年時以降に学ぶ専門科目を理解するのに必要な基礎知識を得ることを目標とする。ディプロマポリシーの1. 豊かな教養と倫理観の育成に資すること、2. 生命科学関連分野の問題に対して取り組むべき専門知識の基礎を育成することが到達目標である。 1. 藻類・植物の多様性を理解し、分類体系を把握する。 2. 藻類・植物の形態の進化とその機能について理解する。
計画・内容	第1回 藻類・植物の多様性の概観 第2回 植物分類学の基礎と系統進化 第3回 細胞内共生と光合成生物の多様性 第4回 緑藻類から陸上植物への進化 第5回 維管束植物への進化 第6回 根・茎・葉の形態と多様性 第7回 種子と花の形態と多様性 第8回 藻類の形態と分類1：緑藻類・紅藻類など 第9回 藻類の形態と分類2：褐藻類・渦鞭毛藻類など 第10回 コケ植物の形態と分類 第11回 シダ植物の形態と分類 第12回 裸子植物の形態と分類 第13回 被子植物の形態と分類1：基部被子植物・単子葉植物 第14回 被子植物の形態と分類2：真正双子葉植物

2025年度

計画・内容	第15回 まとめと藻類・植物と人間の生活
授業の進め方	パワーポイントを使用した授業形態で行う。 授業内容の理解度の確認のために確認テストを毎回実施し回収する。
能動的な学びの実施	毎回の講義で確認テストとその解説を行い、自分自身の理解度の確認を行う。 毎回の講義で回収する確認テストにはコメントや質問を記入し、次回講義で解説することによって能動的な学びにつなげる。
授業時間外の学修	講義資料や参考書などを使って重要事項の確認を行い、説明できるようにまとめること。（合計60時間程度）
教科書・参考書	授業内容の理解を深めるために、以下の書籍が参考になる。 ・伊藤元己著「植物の系統と進化」裳華房 2012年 ・加藤雅啓編「植物の多様性と系統」裳華房 1997年 ・千原光雄編「藻類の多様性と系統」裳華房 1999年
成績評価方法と基準	毎回の講義に行う確認テスト（30%）と期末試験（70%）によって評価する。
課題等に対するフィードバック	毎回の確認テストについて、授業内に解説を行い自己採点によって理解度を確認する。 回収する確認テストに講義内容についてのコメントや質問を記入する欄を設け、フィードバックを行う。
オフィスアワー	授業前後の10分間と、メールでの質疑に応答する。 窓口教員：東 克己 先生
留意事項	特別の理由なしに講義回数の3分の2以上を欠席した場合は期末試験を受ける資格を無しとする。
非対面授業となった場合の「①授業の進め方」および「②成績評価方法と基準」	①授業の進め方：Zoomによるオンライン講義を主として行う。またはオンデマンド授業を行う。 ②成績評価方法と基準：毎回の課題提出（75%）と期末レポート（25%）によって重要事項の理解度を評価する。